

## 1. 実践研究校名

ふりがな	まにわしりつかわかみしょうがっこう
学校名	真庭市立川上小学校

## 2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	研究推進体制の確立 校内研修年間計画の作成	蒜山地区研究推進協議会	
5月	校内研修（教材研究・教材づくり・環境整備）	蒜山地区研究推進協議会	
6月	研究授業（指導講評：岡山県総合教育センター・信宮誠先生） （真庭市教育委員会・近藤美沙子先生）	蒜山地区研究推進協議会	
7月	研究授業（研究協議・研究会当日の授業計画）	蒜山地区研究推進協議会	
8月	校内研修（教材研究・研究発表会の持ち方）	蒜山地区研究推進協議会 （中学校体験入学指導案作成）	第1回研究推進校連絡会
9月	校内研修（児童アンケート集計）	蒜山地区研究推進協議会	
10月	研究授業（指導講評：岡山県教育庁指導課・西田寛子先生） （真庭市教育委員会・近藤美沙子先生）	蒜山地区研究推進協議会 中学校体験入学：英語授業	
11月	校内研修（研究会の反省、授業の振り返り等）	研究発表会 授業公開5・6年生 分科会 全体会 講演会	
12月		蒜山地区研究推進協議会	
1月	校内研修（指導案作成・教材研究）		第2回研究推進校連絡会 及び成果発表会
2月	研究授業（研究協議）	蒜山地区研究推進協議会	
3月		蒜山地区研究推進協議会	

【その他の取組】

### 3. 取組の具体的な内容 \*重点的に取り組んだ事項 (e, a, b )

#### a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、 「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践

- ・年間指導計画の検証と見直しをした。評価計画を作成して表にまとめた。
- ・1～4年生での年間指導計画も、5・6年生でする活動を見通したものができた。
- ・ゲーム（英語を使う必要感のある体験活動）の開発を積極的に行い、Activityでは英語だけを使って活動するよう、徹底することを共通理解して取り組んだ。
- ・デジタル教材とアナログ教材の併用。毎時間デジタル教材を使うというのではなく、場面を決めて使用した。
- ・デジタル教材の一時停止機能を使って、会話形式の練習ができた。
- ・授業の流れのパターンが教員にも児童にも定着し、見通しをもって、安心して授業に取り組むことができた。
- ・クラスルームイングリッシュと日本語を併用し、指導者や児童が無理なくスムーズに英語に慣れるようにした。
- ・ウォーミングアップに英会話体操やチャンツをいれ、その時間のめあてにあった意識付けができるよう心がけた。

#### b 外国語を通じた、言語や文化についての体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究

- ・「Do your BEST.」を合い言葉に自己評価の観点を明確にしたことで、児童が自分のがんばりを自分で評価できた。（B=Big voice E=Eye contact S=Smile T=Try）
- ・年間指導計画と、時間ごとの評価計画を作成し、表にまとめた。今後も検証が必要。
- ・その時間のめあてと評価を具体的に示し、単元の中でコミュニケーションに関わる部分を多く取り入れるよう構成を考えた。

#### c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施

- ・年間に2回アンケートを実施し、児童の実態把握を行った。

#### d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組

- ・担任が主となって行う授業を創造した。
- ・ALTを講師として、Classroom Englishの使い方の練習をした。

**● 他の小学校や中学校等との連携**

- ・中学校体験入学時に、3小学校の6年生合同で英語の授業を体験した。指導内容や指導案は「蒜山地区研究推進協議会」で作成した。指導は中学校英語担当とALTで行った。
- ・中学校で行っているActivityを小学校でも活用したり、小学校で行っているActivityを中学校で活用するなどした。

**f 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用**

- ・外国語活動だけでなく、道徳や総合的な学習「国際理解」の中で、地域に住む国際経験豊かな方にゲストティーチャーとして来ていただき、海外での暮らしや、日本との文化の違いなどを話していただく機会を設けた。

**g その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）**

- ・研究授業はすべて、中学校区内の学校に案内を出して、参加を呼びかけた。

**4. 年間指導計画及び指導案**

別添資料参照。

**5. 取組の成果等**

- ・全職員で取り組むことで、教職員も児童も外国語活動に対する意識が高まった。特に、1～4年の担任は、5・6年生の外国語活動を見据えて、低中学年のうちに何をしておいたらよいかという意識を持って取り組むことができた。
- ・年間指導計画および評価計画を作ったことで、指導内容も評価の観点も明確になった。
- ・Do your BEST. は定着した。Big voiceは、Clear voiceの方が望ましいが、BESTの語呂の良さと、児童への意識付けの明確さでBig voiceを使っている。
- ・しっかり聞かせるのはやはりネイティブの発音がよい。デジタル教材やCDやALTの活用を心がけたい。
- ・手作り教材で「シルエットTV（影絵が見せられる投影装置）」や「福笑い」等作成した。児童が興味を持って取り組める教材で、提示の仕方或使用場面等工夫することで、有効に活用できた。
- ・コミュニケーションを豊かにするために、その時間の基本表現だけでなく、相づちを打ったり、簡単な挨拶や聞き返しの表現も英語で言ったりすることで、より実際の会話に近づけるよう工夫できた。
- ・小中連携の一步は、小小連携かと考える。まずは、小学校現場での情報交換を行い、教材の共有化や授業パターンの統一化を図った。その結果、同じ土俵で協議し、研究を深めることにつながった。
- ・小中連携では、中学校体験入学で英語の授業をすることが、中学校への進級の期待感を高めると共に、外国語活動が「英語科」へとスムーズに移行できるスモールステップとなることを期待している。
- ・2年間の取組で1週間に1時間「外国語活動」の授業があるということが、児童にも定着してきた。

**6. 次年度以降の継続・展開**

来年度は、「外国語活動」だけに絞らず、今年度までの研究の成果を踏まえながら、言語活動やコミュニケーション活動を中心にした研究を進めていく予定。

**第5学年外国語活動 学習指導案**

- 1 単元名 : クイズ大会をしよう 【What's this?】 (第2限目)  
 2 使用教材 : (英語ノート44・45・48ページ)  
 3 本時のねらい : 身近な生き物や道具の言い方を知り、クイズに答えようとする。  
 4 本時の展開

学習過程 (時間)		活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物 ☆評価
<b>Greeting</b> (3)		「Do your BEST」の確認 (本時では B と T)。 How are you? I'm~. ・全体に向けて挨拶し、何人かと会話する。	Do your BEST 表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     B: Big voice                      E: Eye contact                      S: Smile                      T: Try                 </div>
<b>Warm up</b> (10)	<b>Day&amp;date</b> <b>Weather</b> <b>Song</b> <b>Chant</b>	What day is it today? What's the date today? How is the weather? 「英会話たいそう」 「What's this?» デジタル教材に合わせて、リズムよく繰り返す。英語ノートに出てくる多くの単語に触れる。 ・大きな声で言うように呼び掛ける。 ・言い慣れることに重点を置き、全体で繰り返し行う。	DVD「英会話たいそう」 デジタル教材 CD「What's this?» ☆積極的に What's this? It's a ~. と言おうとしている。 (行動観察)
<b>Activity 1</b> (12)	<b>めあて</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     クイズに答えてみよう                 </div> ふりかえりカードに本時のめあてを記入する。	ふりかえりカード
	<b>Game1</b>	「シルエット・クイズ」 デジタル教材を使い、教師が出題するシルエットは何かを考え、答える。 ・本来は What's this?と聞くのは出題者であるが、一緒に大きな声で言うように伝える。 ・声が小さな時は Pardon?と聞き返す。	デジタル教材
<b>Activity 2</b> (15)	<b>Game2</b>	「ピクチャー・クイズ」 教師が画用紙にイラストを描き、描いた絵が見えないように、絵の上に穴のあいたカードを乗せて準備をする。次に穴あきカードの乗った絵を見せながら What's this? と相手に尋ね、答える側はヒントを出してもらいながら何の絵がかいてあるかを答えていく。ヒントは Move right, please. 等、1回ずつ穴あきカードを動かしてもらうように頼むことができる。	イラスト (画用紙大) 穴あきカード (〃)  ☆クイズを友達同士で出し合おうとしている。 (行動観察)
<b>Wrap up</b> (3)		・英語ノートの単語と What's this?という尋ね方を全体で確認する。	ふりかえりカード
<b>Greeting</b> (2)		That's all for today. Good job! Good bye song を歌う。 ふりかえりカードに振り返りを記入する。	

5 評価規準 : 積極的に What's this? It's a ~. と言おうとしている。  
 クイズを友達同士で出し合おうとしている。

6 指導後の反省等 : Warm up でチャンツを取り入れて、Activity へのつながりをスムーズに行うことができた。

**第5学年外国語活動 学習指導案**

1 単 元 名 : クイズ大会をしよう 【What's this?】 (第3限目)

2 使用教材 : (英語ノート44・45・47・49ページ)

3 本時のねらい : What's this? を使ってクイズを楽しもうとする。

4 本時の展開

学習過程 (時間)	活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物 ☆評価
<b>Greeting</b> <b>(3)</b>	<p>「Do your BEST」の確認 (本時では E と T)。</p> <p>How are you? I'm~.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各列の先頭の児童に教師が尋ね、リレー形式で尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<p>Do your BEST 表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>B: Big voice E: Eye contact S: Smile T: Try</p> </div>
<b>Warm up</b> <b>(10)</b>	<p><b>Day&amp;date</b> What day is it today? What's the date today? How is the weather?</p> <p><b>Weather</b></p> <p><b>Song</b> 「英会話たいそう」</p> <p><b>Chant</b> 「What's this?」</p> <p>デジタル教材に合わせて、リズムよく繰り返す。続けて CD とフラッシュカードを使って What's this? It's a ~. というチャンツを行い、英語ノートに出てくる多くの単語に触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声で言うように呼び掛ける。</li> <li>様子を見て、グループごと (男女別・生活班別等) に役割を分担してチャンツに変化をつけて行う。</li> </ul>	<p>DVD 「英会話たいそう」</p> <p>デジタル教材</p> <p>CD 「What's this?」</p> <p>フラッシュカード</p> <p>☆積極的に What's this? It's a ~. と言おうとしている。 (行動観察)</p>
<b>Activity 1</b> <b>(12)</b>	<p><b>めあて</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>英語でクイズを出して楽しもう</p> </div> <p>ふりかえりカードに本時のめあてを記入する。</p> <p><b>Game1</b> 「シルエット・クイズ」</p> <p>6つのグループに分かれ、教師が出題するシルエットは何かを考え、答える。グループで相談するのはよいが、答えるのは先頭の児童とし、正解者は列の最後尾に移動する。正解したチームに1ポイント。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本来は What's this? と聞くのは出題者であるが、一緒に大きな声で言うように伝える。</li> <li>ヒントは Roll, please. 等、必ず please. をつけるよう伝える。</li> <li>声が小さな時は Pardon? と聞き返す。</li> </ul>	<p>ふりかえりカード</p> <p>シルエット TV</p> <p>出題する物</p>
<b>Activity 2</b> <b>(15)</b>	<p><b>Game2</b> 「ピクチャー・クイズ」</p> <p>まず、英語ノート p.49 に描いた絵が見えないように、絵の上に穴のあいたカードを乗せて準備をする。スタートの合図で自</p>	<p>英語ノート</p> <p>穴あきカード</p>

<p><b>Wrap up</b> <b>(3)</b></p> <p><b>Greeting</b> <b>(2)</b></p>		<p>由に相手を見つけてペアをつくる。次に穴あきカードの乗った絵を見せながら <b>What's this?</b> と相手に尋ね、答える側はヒントを出してもらいながら何の絵がかいてあるかを答えていく。ヒントは <b>Move right, please.</b> 等、1回ずつ穴あきカードを動かしてもらいように頼むことができる。会話した友達の名前をメモしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Hello. Excuse me.</b>を会話の最初に、<b>Thank you. Bye.</b>を最後に付けるよう伝える。</li> <li>・ 英語だけでコミュニケーションをとるよう伝える。</li> <li>・ 会話文はいつでも確認できるよう、板書しておく。</li> <li>・ 会話した人数を発表し、拍手でたたえる。</li> </ul> <p><b>That's all for today. Good job!</b></p> <p><b>Good bye song</b> を歌う。</p> <p>ふりかえりカードに振り返りを記入する。</p>	<p>☆クイズを友達同士で出し合おうとしている。 (行動観察)</p> <p>ふりかえりカード</p>
--	--	---	---

5 評価規準：積極的に **What's this? It's a ~.** と言おうとしている。

クイズを友達同士で出し合おうとしている。

6 指導後の反省等：前時にクイズのやり方がわかっていたので、児童も自信を持って意欲的に活動することができた。

描く絵は、英語ノートに出てきたものを模写したので、描くのも当てるのも少し楽だった。

第5学年外国語活動 学習指導案

- 1 単元名：数で遊ぼう 【How many?】 (第1限目) 第5学年 組
- 2 使用教材： (英語ノート17ページ)
- 3 本時のねらい：10までの数の言い方に慣れる。
- 4 本時の展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
3分	「Greeting」 ○「Do your BEST」の確認。 ○挨拶をする。 How are you? I'm~. What day is it today? What's the date today? How is the weather? ○各列の先頭の児童に教師が尋ね、リレー形式で尋ねたり答えたりさせる。		B: Big voice E: Eye contact S: Smile T: Try
5分	「Warm up」 ●「英会話たいそう」 1～10の言い方に慣れよう	●めあてカードにめあてを記入する。	△CD「英会話たいそう」 ※教師が進んで大きな声で歌い、踊る。  △めあてカード
10分	「Ten steps」 ●デジタル教材に合わせて、動作をつけながら歌う。 ○動作に偏らず、大きな声で歌うように呼び掛ける。		△デジタル教材 △Smart board ※教師が進んで大きな声で歌い、踊る。 ※全員が動作をつけながら歌うことができるよう、難しい数字のところを取り上げて繰り返し練習する。
10分	「ナンバータタキゲーム」 ●4つのグループに分かれ、黒板に貼られたナンバーカードの中から、教師が言ったナンバーカードを見つけ、タッチする。 ○1～10までの数字をランダムに読み上げる。 ○正解のカードにタッチできたら、発音を確認して児童と一緒に読み上げる。		△ナンバーカード ※最初はゆっくり読み上げ、徐々にスピードを上げたりリズムを変えたりしながら変化をつけて読み上げていく。
12分	「キー・ナンバーゲーム」 ●二人組になり、二人の間に消しゴムを置く。教師の後に続いて1～10までの数字をカウントしながら手拍子をする。あらかじめ選ばれたキー・ナンバーが言われた時に消しゴムをとる。 ○キー・ナンバーを最初に確認し、「数字、パンパン(手拍子2回)」のリズムでランダムに読み上げる。		△消しゴム ※最初はゆっくりペースで数字を言っていく、徐々にスピードを上げていく。 ※慣れてきたら「8」を「はち」と日本語で言ったり、「えいち」とわざと間違えたりする等、変化をつけて読み上げていく。
5分	「Greeting」 ○挨拶をする。 That's all for today. Good job! Good bye song を歌う。 ●めあてカードに振り返りを記入する。		△めあてカード

5 評価規準

- ・1～10の英語の音を意識して発音しようとしている。

6 指導後の反省点等

- ・1～10までの言い方は知っている児童がほとんどだが、数字を見て英語で言うことができにくい児童も見られたため、教師が言った数字にタッチしたり、ナンバーカードを見て英語で言ったりする活動を通して、「1」という数字と「one」という読み方をつなげるために有効だった。
- ・子どもを「のせる」ための盛り上げ方を工夫することが大切だと感じた。

第5学年外国語活動 学習指導案

- 1 単元名：数で遊ぼう 【How many?】 (第2限目) 第5学年組
- 2 使用教材：\_\_\_\_\_ (英語ノート17ページ)
- 3 本時のねらい：11～20までの数と「いくつ？」の言い方に慣れる。
- 4 本時の展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
3分	<p>「Greeting」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Do your BEST」の確認。</li> <li>○挨拶をする。 How are you? I'm~.</li> <li>What day is it today? What's the date today? How is the weather?</li> <li>○各列の先頭の児童に教師が尋ね、リレー形式で尋ねたり答えたりさせる。</li> </ul>		<p>B: Big voice E: Eye contact S: Smile T: Try</p>
5分	<p>「Warm up」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「英会話たいそう」</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>11～20の言い方に慣れよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●めあてカードにめあてを記入する。</li> </ul>		<p>△CD「英会話たいそう」 ※教師が進んで大きな声で歌い、踊る。</p> <p>△めあてカード</p>
8分	<p>「Twenty steps」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル教材に合わせて、動作をつけながら歌う。</li> <li>○動作に偏らず、大きな声で歌うように呼び掛ける。</li> </ul>		<p>△デジタル教材 △Smart board ※教師が進んで大きな声で歌い、踊る。 ※全員が動作をつけながら歌うことができるよう、難しい数字のところを取り上げて繰り返し練習する。</p>
10分	<p>「ナンバータッチゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●4つのグループに分かれ、黒板に貼られたナンバーカードの中から、教師が言ったナンバーカードを見つけ、タッチする。</li> <li>○11～20までの数字をランダムに読み上げる。</li> <li>○正解のカードにタッチできたら、発音を確認して児童と一緒に読み上げる。</li> </ul>		<p>△ナンバーカード ※最初はゆっくり読み上げ、徐々にスピードを上げたりリズムを変えたりしながら変化をつけて読み上げていく。</p>
15分	<p>「How many candies ゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師に How many candies do you have? と尋ね、ビンゴゲームを楽しむ。</li> <li>○I have two candies.と答え、ビンゴゲームを進める。</li> <li>●最後にビンゴになった数を発表し、拍手でたたえ合う。</li> </ul>		<p>△ビンゴカード △Candy カード ※会話文はいつでも確認できるよう、板書しておく。 ※答えると同時に Candy カードを見せ、数字と読み方を確認する。</p>
4分	<p>「Greeting」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。 That's all for today. Good job! Good bye song を歌う。</li> <li>●めあてカードに振り返りを記入する。</li> </ul>		<p>△めあてカード</p>

5 評価規準

- ・11～20と How many～?を英語の音を意識して発音しようとしている。

6 指導後の反省点等

- ・11～20までの言い方は知っている児童もいたが、1～10に比べると少なかった。数字を見て英語で言うことができにくい児童も多く、「11」という数字と「eleven」という読み方をつなげるためにゲームを通して繰り返し確認したことは有効だった。
- ・ゲームに慣れてくると集中が途切れる児童もいたため、スピードやリズムに変化をつけることで意欲を持続させることが重要であると感じた。



## 第5学年 外国語活動学習指導案

平成22年6月17日(木) 第5校時 指導者 秋元 紀幸

## 1 単元 数で遊ぼう 【How many?】(英語ノート1 Lesson3)

## 2 目標

- ・ 1～20の数の言い方に興味を持って聞こうとする。(体験的理解：ア)
- ・ 積極的に数を尋ねたり、協力してゲームをしたりしようとする。(コミュニケーション：イ)
- ・ 1～20の数を言いながら、積極的にゲームを楽しもうとする。(音声や基本表現：ウ)

## 3 指導・評価計画案 全4時間 (○は本時)

時数	学習内容	評価の観点	言語材料
1	10までの数の言い方に慣れる。	・ 1～10を英語の音を意識して発音しようとする。(ア)	Words(1~10) How many?
2	11～20の数と「いくつ？」の言い方に慣れる。	・ 11～20と How many~? を英語の音を意識して発音しようとする。(ア)	Words(11~20) How many candies do you have?
③	1～20の数を使って友達とビンゴゲームをする。	・ 友達に How many~? と尋ねながらビンゴゲームを楽しもうとする。(イ・ウ)	Words(1~20) How many candies do you have? I have two candies.
4	1～20の数を使ってグループでスネークス&ラダーズゲームをする。	・ グループで協力してスネークス&ラダーズゲームを楽しもうとする。(イ・ウ)	Words(1~20) How many candies do you have? I have two candies.

## 4 指導上の立場

## (1) 単元について

本単元はこれからの外国語活動の中で繰り返し使われる「数」のうち、1～20の数を取り上げる。数の取り上げ方としては、ただ単に数を数えるのではなく、歌やチャンツ、簡単なゲームを通して、楽しみながら数に触れる機会を多く持っていく。数に少しずつなれた段階で、友達同士で楽しめる簡単なゲームを取り入れ、コミュニケーションの楽しさを伝えていく。

数に触れる機会を多く持ち、ゲームを通して友達や教師とのふれあいを経験する中で、数についての興味や関心が高まるものと期待している。

## (2) 児童の実態

本学級は男子8名、女子10名、計18名のクラスである。外国語活動については楽しみにしている児童が多く、意欲的に取り組む姿が多く見られる。昨年度からの積み上げもあり、曜日や月、数字や物の名前といった単語はよく覚えている児童が多い。一方で、全体の前で発表したり友達同士で会

話をしたりする際には恥ずかしさや自信のなさから消極的な取り組みとなる児童も見られる。そのため、まずは英語に慣れることに重点を置き、毎週1時間の外国語活動では、単語や文の練習を繰り返したり、ゲームを通して英語の表現に慣れる活動を多く取り入れたりしてきている。

(3) 指導の展開

外国語活動は、「greeting、 warm up、 activity、 wrap up、 greeting」という一連の流れで授業を行っている。授業の流れを黒板に明示し固定化することで、安心して活動ができる児童が増えてくることを期待している。本単元でもこの流れに沿って、まずは1～20の数の言い方に慣れることから始めたい。単語をただ単調に聞く、話すという活動にとどまらず、歌やチャンツ、デジタル教材などを利用して楽しみながら聞き取りや発音練習を行っていききたい。併せて、数を尋ねる「How many~?」の言い方も練習し、会話につなげていききたいと思う。学習した単語や会話を活用する場面では、ワークシートを使って友達の持っている数カードを尋ねたり、グループで協力しながら英語ノートのゲームを楽しむ活動をしたりする等、英語でコミュニケーションを図る体験を取り入れていきたい。特に留意する点として、コミュニケーションを図る場面では、英語のみを使って活動することを確認してからスタートしたいと考えている。

(4) 研究主題との関連

研究主題 「英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」

～聞いてわかる 話して通じる 楽しい英語活動～ との関連

子どもたちが英語を使ってコミュニケーションを図るには、話すべき英語の内容を理解し、どのように言えばよいのかを知ることが前提になると思われる。また、理解はしていても英語を使うことに消極的な児童には、英語を使う必要感を与えることも重要であると考えられる。

そこで本単元では、まず英語ノートやデジタル教材、CD等を積極的に使って英語の発音に慣れ、しっかりした声で英語を話す体験を繰り返し行っていききたい。また英語を使わざるをえない状況を題材に盛り込むことで(友達とのビンゴゲームや、グループでのスネークス&ラダーズゲーム)自発的な活動につながると考えられる。

以上のように、英語を聞くこと・話すことの体験を繰り返し、目的意識を明確にした題材を設定することで、研究主題に近づくことができると考える。

5 本時案 (第3時)

ねらい	1～20の数を使って、友達とビンゴゲームを楽しもうとする。	
学習過程 (時間)	活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物 ☆評価
<b>Greeting</b> (3)	「Do your BEST」の確認。 How are you? I'm~. ・各列の先頭の児童に教師が尋ね、リレー形式で尋ねたり答えたりする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     B: Big voice                      E: Eye contact                      S: Smile                      T: Try                 </div>  CD 「英会話たいそう」
<b>Warm up</b> (5)	Day&date Weather Song What day is it today? What's the date today? How is the weather? 「英会話たいそう」	

<p><b>Activity 1</b> (17)</p>	<p>めあて</p> <p><b>Song</b></p> <p><b>Game1</b></p>	<p>1～10の言い方に慣れて、ゲームを楽しもう めあてカードに本時のめあてを記入する。</p> <p>「Ten steps」「Twenty steps」 デジタル教材に合わせて、動作をつけながら歌う。 ・動作に偏らず、大きな声で歌うように呼び掛ける。</p> <p>「Candy タタキゲーム」 4つのグループに分かれ、黒板に貼られた1～20のキャンディーカードの中から、教師が答えたカードをハエタタキでたたく。 ・How many candies do you have?と大きな声で尋ねるように伝える。 ・声が小さな時は Pardon?と聞き返す。</p>	<p>めあてカード</p> <p>デジタル教材 <b>Smart board</b> ☆数を英語で積極的に言おうとしている。</p> <p>キャンディーカード ハエタタキ</p>
<p><b>Activity 2</b> (15)</p>	<p><b>Game2</b></p>	<p>「How many candies ビンゴ」 児童はまず配られたキャンディーカードを見て自分の数を覚える。次にビンゴカードを持ち、自由に相手を見つけながら How many candies do you have? I have two candies.と会話をしながらビンゴゲームをする。ビンゴになったら教師からシールをもらう。 ・Hello. Excuse me.を会話の最初に、Thank you. Bye.を最後に付けるよう伝える。 ・英語だけでコミュニケーションをとるよう伝える。 ・会話文はいつでも確認できるよう、板書しておく。</p>	<p>ビンゴカード キャンディーカード</p> <p>☆英語を使って、コミュニケーションを図ろうとしている。</p>
<p><b>Wrap up</b> (3)</p> <p><b>Greeting</b> (2)</p>		<p>ビンゴになった数を発表し、拍手でたたえる。</p> <p>That's all for today. Good job! Good bye song を歌う。 めあてカードに振り返りを記入する。</p>	

6 評価規準

- ・数を英語で積極的に言おうとしている。
- ・英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

7 指導後の反省等

・ビンゴゲームの時、配られたカードの数を「覚えて言う」ことが大変よかった。カードを持ったままだと、カードを見せて答えてしまう児童が出てきてしまうと予想されたので、覚えさせた。会話の始まりや終わりを基本表現だけにしないで、Hello. Excuse me.～ Thank you. Bye.を付け加えたことで、会話らしくなった。

## 第6学年 外国語活動学習指導案

平成22年10月4日(月) 第5校時

指導者：蒜山中学校 杉 真弓・Marlon Gray

場 所：蒜山中学校図書室

参加者：川上・八束・中和小学校6年生 47名

## 本時案

ねらい	単語づくりを通して、アルファベットに慣れる。	
学習過程 (時間)	活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物
<b>Greeting</b> (5)	How are you? I'm~. 5人とあいさつをする。(他校の6年生と) A:Hello.My name is~. Nice to meet you. B:My name is ~. Nice to meet you,too. (握手)	パイプいす準備
<b>Warm up</b> (10)	Day&date Weather Game Criss cross game	ピクチャーカード
	めあて アルファベットに慣れよう。	
<b>Activity 1</b> (15)	Game1 アルファベットゲーム ・個人個人がアルファベットカードを持ち、提示された単語に必要なアルファベットを持っている児童が集まる。	アルファベットカード
<b>Activity 2</b> (15)	書く活動 ・ワークシートに単語を書く。 ・Activity1 で使用した単語を書く。	ワークシート 机を使用
<b>Wrap up</b> (5)	・感想を書き、時間があれば発表する。	ワークシート
<b>Greeting</b> (1)	That's all for today. Stand up,please. See you!	

\*この授業は、蒜山中学校区の小学校3校が、体験入学の時に中学校の先生に授業をしていただくということで、「蒜山地区研究推進協議会」で話し合っって作成したものです。

## 第 6 学年 外国語活動学習指導案

平成 22 年 7 月 2 日 (金) 第 6 校時 指導者 池田 美津子

1 単元 友だちの誕生日を知ろう ～ When is your birthday ?～ (英語ノート 2 Lesson3)

- 2 目標
- ・世界や日本の祭りや行事に興味を持つ。(体験的理解：ア)
  - ・積極的に友達に誕生日を尋ねたり，自分の誕生日を答えたりする。  
(コミュニケーション：イ)
  - ・英語での月の言い方や，誕生日の言い方に慣れ親しむ。  
(音声や基本表現：ウ)

3 指導・評価計画案 全 4 時間 (○は本時)

時数	学習内容	評価の観点	言語材料
1	・世界の祭りや日本の行事を通して月の言い方を知り，自分の生まれた月を言う。	・世界の祭りや日本の行事に興味を持ち，積極的に月名を言おうとしているか。 (ア・ウ)	Which Month? Word (12 か月)
2	・～月～日の言い方を知り，自分の誕生日を言う。	・～月～日の言い方を知り，積極的に誕生日を言おうとしているか。 (ウ)	When is your birthday? My birthday is ～.
3	・月の言い方や誕生日の言い方，尋ね方に慣れる。	・月や誕生日の言い方，尋ね方に慣れ，積極的に言おうとしているか。 (イ・ウ)	When is your birthday? My birthday is ～.
④	・友達に誕生日を尋ねたり，答えたりする。 ・世界の誕生日について聞く。	・積極的に友達に誕生日を尋ねたり，答えたりしようとしているか。 ・世界の誕生日について、興味を持って聞こうとしているか。(ア・イ)	When is your birthday? My birthday is ～.

4 指導上の立場

(1) 単元について

本単元は，世界の祭りや日本の行事を通して，12 か月を英語でどう言うのかを知り，互いに誕生日を尋ねたり答えたりすることを目標としている。

日常生活においては，自分の誕生日を人に伝えることはあまりない。しかし，誕生日に限らず，When ～? (～はいつですか。) などという質問に対して，It's ～.や On June 13th.と答えるような場面は多い。そこで，児童に身近な誕生日を扱うことにより，12 か月の言い方や序数の言い方

を知り、その言い方に慣れ親しむことができると思う。そして、誕生日について友だちとお互いに尋ね合う活動を通して、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験させるようにしたい。

また、四季のある日本には季節ごとの行事も多い。そこで、本単元では、世界や日本の祭りや行事を通して月そのものに興味を持たせるようにしたい。世界や日本の祭りや行事を扱うことで、異文化を新たに理解したり日本文化を再認識したりするきっかけになると考える。

## (2) 児童の実態

本学級は、男子13名、女子4名、計17名である。外国語活動は特別支援学級に在籍している男子1名、女子1名も一緒にするため、全員で19名での授業となる。児童は、昨年度から英語ノートを使い、週1時間の外国語活動を行っている。外国語活動に関しては、楽しみにしている児童が多く、意欲的にゲームや歌、チャンツをすることができる。しかし、簡単な単語や会話文を聞き取ったり話したりすることに自信のない児童も見られる。

児童は、修学旅行で外国の人に話しかける活動に取り組んだ。最初は話しかけることに躊躇していたが、一人また一人と話しかけるうちに、次第に慣れて話せるようになってきた。児童はそれぞれに英語が通じたことの喜びを感じ、いろいろな国の人と英語や身振りを使ってコミュニケーションできたことを実感できたようである。

児童は、意欲的に表現活動に取り組むが、活動が活発になると相手や周りのことを考えない言動もみられる。そこで、楽しさだけでなく知的好奇心を満足させるような課題に取り組ませたり、相手のことを考え一生懸命に聞き取ったりという活動を取り入れるよう工夫していきたいと考える。

## (3) 指導の展開

この単元は、4時間で構成されている。最初に、日本や世界の祭りや行事を通して、月名の言い方を知り、月名や自分の誕生日の言い方に慣れ、最後に誕生日を尋ねたり答えたりする活動に取り組む。

誕生日を尋ね合うという活動に向けて、キー・ワード・ゲームやかるた取り、ステレオ・ゲームなどのゲームやチャンツなどを通して12か月の言い方や日にちの言い方に慣れさせたい。また、CDやDVD、デジタル教材などを上手に活用し、聞き取ったり発音したりという活動も多く取り入れたい。また、誕生日を尋ねる「When is your birthday?」という表現も繰り返し触れるようにしていきたい。

本時では、英語を使って友達と誕生日を尋ね合う。誕生日を既に知っている児童が多いため、違う人物（有名人など）の誕生日を代わりに言うようにさせたい。そうすることによって、より積極的にコミュニケーションを図ろうとするのではないかと考える。月名や日にちの言い方については、毎週の「Greeting ~Day&date~」の中で昨年から取り組んできているので、ある程度は言うことができる。しかし、相手に寄り添って話を聞くのが苦手な児童が多いので、相手の話をきちんと聞くことを意識させ取り寄せたい。

また、誕生日の祝い方を簡単な英語で紹介し、どこの国の誕生日かを考えさせる活動も取り入れる。このことを通して、まとまった英語を聞き取ろう、理解しようとする態度を育てたい。そして、世界にはいろいろな誕生日の祝い方があることや誕生日の大切さについても考えさせたい。

(4) 研究主題との関連

研究主題「英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」

～聞いてわかる 話して通じる 楽しい英語活動～ との関連

小学校学習指導要領に示されている外国語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」である。

コミュニケーション能力の素地とは、相手が伝えようとしていることを理解しようとするものである。そして、相手に対し、何らかの反応を示すことだと考えられる。

今までも、ALT による外国語活動で児童は英語というものに触れてきていたはずである。しかし、ALT に対して、児童は十分にコミュニケーションを図ろうとしてきたとは言えない。ALT が話す言葉を誰かに訳してもらい、楽しく活動はするが ALT に積極的に反応を示したり関わったりすることを避けていたというのが実情ではないだろうか。勇気を出して話そうとする姿、聞き取ろう理解しようとする姿が求める児童像ではないかと考える。

そこで、本単元では、聞きたい、話したいという気持ちを持つような活動を設定するようにした。本時では、世界の誕生日についての話を聞いたり、お互いに（有名人の）誕生日を尋ね合う活動を行うが、知りたいわかりたいという思いを持つことにより、積極的に聞き取ろうとしたり伝えようとしたりする「コミュニケーション能力の素地」を養うと考える。また、このことが、中学校の目標「コミュニケーション能力の基礎（聞く・話す・読む・書く）」の育成につながっていくのではないかと考えられる。

5 本時案（第4時）

めあて		友達に誕生日を尋ねたり答えたりしようとする	
学習過程 (時間)		活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物 ☆評価
Greeting		はじめのあいさつと「Do your BEST」の確認。 今日の気分を尋ねたり答えたりする。 How are you? I'm~.	Do your BEST 表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">B : Big voice E : Eye contact S : Smile T : Try</div> CD・掲示ボード
Warm up	Day&date	What day is it today?      What's the date today?	
	Weather	How is the weather today? I's ~.	
	Chant	「バナナチャンツ」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">たん生日をたずねたり答えたりしよう</div>	
Activity 1	Game 1	「When is your birthday?」 それぞれに人物カードを配って誕生日を尋ね合い、英語ノート p. 2 1 の表に名前を書き込む。 Hello. Excuse me? What your name? My name is ~. When is your birthday? My birthday is ~. Thank you. Good bye.	人物誕生日カード 英語ノート ☆積極的に友達に誕生日を尋ねたり、答えたりしようとしているか。

Activity 2	Game 2	<p>・最初に担任が見本を示すことで、活動内容を理解したり、話すことを確認したりできるようにする。また、基本表現は板書していつでも見られるようにしておく。</p> <p>・なるべく英語だけで話すように確認する。</p> <p>・誕生日や名前を見ないで言ったり聞き取って書いたりするため、人物カードの内容は覚えて、机の上に置いてスタートする。誕生日などを忘れてしまった場合は自分の机に見に行ってもいいことを伝える。</p> <p>・困っている児童や配慮を要する児童には、助言したり一緒に言ったりするようにする。</p> <p>「どこの国のたん生日？」 誕生日についての話を聞き、どこの国のことか考えて当てる。 Which country?</p> <p>・中国・ロシア・イギリス・日本などの誕生日について、絵と簡単な英語、身振りなどでわかりやすく伝える。</p> <p>・答えがなかなか出ない場合は、手がかりになるようなヒントを増やしていくようにする。</p> <p>・日本の誕生日と違い、多くの国では、周囲の人やお世話になった人、自分の親などにありがとうという気持ちを伝えたりごちそうしたりする行事だということを紹介し、文化の違いに気づかせるようにする。</p>	<p>絵カード ☆簡単な英語を聞き取ろうとしたり、反応したりしているか。</p>
Greeting	Song	Good bye song を歌う 振り返りカードに記入する	

## 6 評価規準

- ・積極的に友達に誕生日を尋ねたり、答えたりしようとしている。
- ・世界の誕生日についての簡単な英語を聞き取ろうとしたり、反応したりしている。

## 7 指導後の反省等

- ・相手が誰なのか大変興味を持って、インタビューすることができていた。そして、誕生日がいつなのか、知りたいという気持ちがよく表れていた。自分が誰なのか名前を伝えたり、誕生日を答えたりすることも楽しくできた。世界の誕生日の祝い方は外国の文化に興味を持つ良い教材だった。



## 第6学年外国語活動 学習指導案

- 1 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう 【Where do you want to go?】 (第1限目)
- 2 使用教材 : (英語ノート36・37・42・43ページ)
- 3 本時のねらい : 世界の国名や有名な場所、もののいい方を知ろうとする。
- 4 本時の展開

学習過程 (時間)		活動内容及び指導上の留意点・使用する基本表現	準備物 ☆評価
Greeting (3)		はじめのあいさつをする。 「Do your BEST」を確認する。(本時ではS・T) 今日の気分を尋ねたり答えたりする。 How are you? I'm~.	Do your BEST 表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     B : Big voice                      E : Eye contact                      S : Smile                      T : Try                 </div>
Warm up (5)	Day&date Weather Chant  めあて	What day is it today?      What's the date today? How is the weather today? It's ~. 「ドイツじゃなくて Germany」 「I want to go to Italy.」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">世界のいろいろな国のことを知ろう</div>	CD「バナナじゃなくて banana チャンツ」 CD、英語ノート
Activity1 (15)	Listen 1   Listen 2	「4人の自己紹介を聞き取ろう」 CDを聞いて、4人の自己紹介からわかったことを書く。 Hello, my name is ~. I'm from ~. I like ~. I can ~. ・今まで学習した表現を思い出させて聞くようにさせる。  「国名を聞き取ろう」 国旗の特徴を聞き、国名を書く。 Green,yellow,blue and white. A circle and a diamond in the center. This is Brazil. ・国旗カードを用意し、色や形の着目して聞く助言ようにする。	☆まとまった話を聞き、自己紹介や国名を聞き取ろうとしている。(行動観察・英語ノート) CD、英語ノート  CD、英語ノート
Activity2 (15)	Game 1	「国旗かるた取りゲーム」 グループに分かれ、ヒントをもとに国旗かるたを取る。 White, red and blue. Three lines. France. ・国旗に含まれる色や形をヒントとすることで、どの国の国旗かわからなくても楽しくゲームに参加できるようにする。	国旗かるた ☆積極的にヒントを聞き、国旗かるたを取ろうとしている。(行動観察)
Wrap up (5)		世界遺産を紹介する。 ふりかえりカードに記入する。	
Greeting (2)		終わりのあいさつをする。	

### 5 評価規準

- ・まとまった話を聞き、自己紹介の内容や国名を聞き取ろうとしている。
- ・積極的にヒントを聞き、国旗かるたを取ろうとしている。

### 6 指導後の反省等

- ・いろいろな国については、外国語活動の時間以外でも時間を取って興味を持たせる工夫をしてきた。将来行ってみたい国を自分で決めるようになるためには、英語ノートの中からだけでなく他の情報や体験活動も必要だと思う。

## 第6学年外国語活動 学習指導案

- 1 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう 【Where do you want to go?】(第2 限目)
- 2 使用教材 : (英語ノート 39・40・41 ページ)
- 3 本時のねらい : 行きたい国やその理由のいい方を知ろうとする。
- 4 本時の展開

学習過程 (時間)		活動内容及び指導上の留意点・使用する基本表現	準備物 ☆評価
Greeting (2)		はじめのあいさつをする。 「Do your BEST」を確認する。(本時では B・T) 今日の気分を尋ねたり答えたりする。 How are you? I'm~.	Do your BEST 表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     B : Big voice                      E : Eye contact                      S : Smile                      T : Try                 </div>
Warm up (5)	Day&date Weather Chant  めあて	What day is it today?      What's the date today? How is the weather today? It's ~. 「ドイツじゃなくて Germany」 「I want to go to Italy.」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px auto;">                     行きたい国や理由のいい方を知ろう                 </div>	CD「バナナじゃなくて banana チャンツ」 CD、英語ノート
Activity1 (15)	Game	「ビンゴ・ゲーム」 巻末の絵カードを切り取り、ビンゴ・ゲームをする。 Listen carefully to me. baseball, camel, beach, soccer, pyramid, koala 等。 ・絵カードのいい方に慣れてから、ビンゴゲームをする。	絵カード
Activity2 (10)	Listen	「行きたい国と理由を聞き取ろう」 CD を聞いて、行きたい国とその理由を聞き取り線で結ぶ。 I'm Ken. I want to go to Egypt. I like history. I want to see pyramid and the Sphinx. I want to see camels in the desert. ・行きたい国やその理由のいい方に気をつけて聞き取らせるようにする。	CD、英語ノート
Activity3 (10)	Write	「自分の行きたい国と理由を書こう」 自分が行ってみたい国について、その理由と国旗を書く。 I want to go to ~. I like ~. I want to see ~. ・自分が行きたい国やその理由を絵や単語で書く。 次時の活動につなげるために、英語での言い方に慣れさせるようにする。	英語ノート ☆自分の行ってみたい国とその理由を考え、英語でのいい方を知る (ワークシート・行動観察)
Wrap up (2)		ふりかえりカードに記入する。	
Greeting (1)		終わりのあいさつをする。	

### 5 評価規準

- ・自分の行ってみたい国とその理由考え、英語でのいい方を知ろうとする。

### 6 指導後の反省等

- ・児童は、積極的に英語を聞き取ろうとしていた。ビンゴゲームが盛り上がった。

## 第6学年外国語活動 学習指導案

1 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう 【Where do you want to go?】 (第3限目)

2 使用教材 : (英語ノート39・40・41ページ)

3 本時のねらい : 友達に行きたい国を尋ねたり答えたりしようとする。

4 本時の展開

学習過程 (時間)		活動内容及び指導上の留意点 使用する基本表現	準備物 ☆評価
Greeting (2)		はじめのあいさつをする。 「Do your BEST」を確認する。(本時ではE・T) 今日の気分を尋ねたり答えたりする。 How are you? I'm~.	Do your BEST 表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     B : Big voice                      E : Eye contact                      S : Smile                      T : Try                 </div>
Warm up (3)	Day&date Weather	What day is it today?      What's the date today? How is the weather today? It's ~.	電子黒板 デジタル教材 CD「バナナじゃなくて て banana チャンツ」
	Chant	「I want to go to Italy」 「ドイツじゃなくて Germany」	
	めあて	行きたい国をたずねたり答えたりしよう	
Activity1 (13)	Game 1	「Criss Cross ゲーム」 世界の国の有名な建物や食べ物等のカードを見て、その国がどこの国かを当てる。列ごとに対戦する。 Where is this? ・今まで学習したものを中心に、世界のいろいろな国の特色について紹介するような絵カードを準備する。	世界の絵カード (英語ノート1・2より)
Activity2 (25)	Game 2	「インタビュー・ビンゴ・ゲーム」 行きたい国について友達に尋ね、ビンゴ・シートに友達の名前や行きたい理由を記入する。 A : Hello. Excuse me? Where do you want to go? B : I want to go to ~. A : Oh, very nice! Why? B : I like ~. A : Thank you. Good bye. B : Good bye. ・最初に担任が見本を示すことで、活動内容を理解したり、話すことを確認したりできるようにする。 また、基本表現は板書していつでも見られるようにしておく。 ・なるべく英語だけで話すように確認する。 ・困っている児童や配慮を要する児童には、助言したり一緒に言ったりするようにする。	ビンゴ・シート ☆積極的に友達に行きたい国を尋ねたり、答えたりしようとしている。 (行動観察・ワークシート)
Greeting (2)		終わりのあいさつをする。 ふりかえりカードに記入する。	

5 評価規準

- ・積極的に友達に行きたい国を尋ねたり、答えたりしようとしている。

6 指導後の反省等

- ・研究発表会での授業だった。途中電子黒板に不具合があったので緊張した。デジタル教材の音声を途中で止めて、登場人物と担任とが会話をしているように使ったのが効果的だった。
- ・たくさんの人が見ている中でも児童は自然に英語での会話や、ビンゴゲームを楽しんでいた。研究会参観者にも積極的に話しかけていく児童がいて、よかった。

第5学年 外国語活動年間指導計画 および 評価計画

真庭市立川上小学校

(ア)コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
(イ)外国語への慣れ親しみ  
(ウ)言語や文化に関する気づき

Lesson	単元名	使用表現	時間	指導内容	評価規準
1	世界の「こんにちは」を知ろう Hello.	What's your name? My name is Ken. Nice to meet you.	第1時	・先生が使う英語表現に慣れる。 ・世界のあいさつを聞く。	・積極的に様々な挨拶を言おうとしている。(ア) ・世界には様々な挨拶があることを知る。(ウ)
			第2時	・出会った人にあいさつをする。	・マナーを守り、積極的に挨拶をする。(イ)(ウ)
			第3時	・友だちとあいさつをして、名刺交換をする。	・自分から進んで相手と挨拶をし、名刺を交換する。(ア)(イ)
2	ジェスチャーをしよう I'm happy.	How are you? I'm happy.	第1時	・感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・様々な感情や様子を表す語を知ろうとする。(ウ)
			第2時	・ジェスチャーをつけて思いを伝える。	・進んでジェスチャーを付けて思いを伝えようとする。(ア) ・それぞれのジェスチャーの意味がどのように違うかなど、1つのことを表すジェスチャーの意味も様々であることを知る。(ウ)
			第3時	・ジェスチャーをつけて相手に挨拶する。	・ジェスチャーを付けて進んで相手に挨拶しようとする。(イ)
			第4時	・感情や様子をジェスチャーをつけて表現し、伝える。	・感情や様子を、ジェスチャーを付けて表現し、伝えようとする。(ア・イ)
3	数で遊ぼう How many? Five.	How many? Five.	第1時	・1～10までの数の言い方に慣れる。	・世界には様々なジェスチャーがあることを知り、進んで言おうとする。(ウ)
			第2時	・11～20の数の言い方に慣れる。	・様々な数え方や11～20の数の言い方を進んで使おうとする。(ウ)
			第3時	・1～20を使えるようになる。	・積極的にゲームに参加し、1～20の数を使おうとする。(ア・イ)
			第4時	・いくつありますか？とたずねたり、数を答えたりする。	・How many?を使って、受け答えを楽しもうとする。(ア・イ)
4	自己紹介をしよう I like apples.	Do you like apples? Yes, I do. No, I don't. I like bananas. Thank you.	第1時	・好きな物を言う。	・誰が何を好きなのか聞き取ろうとする。(ウ)
			第2時	・名前と好きなことを言うようにして、自己紹介の準備をする。	・自分の好きなことを決める。(ア) ・好きなことは英語でどう言うのか知ろうとする。(イ)
			第3時	・自分の好きな物を含めて自己紹介をする。	・自分の好きなことを含めて自己紹介しようとする。(イ・ア) ・友だちが何が好きなのか聞き取ろうとする。(ア)
			第4時	・友だちに好き嫌いをたずねたり、Yes./No.で答えたりする。	・友だちどうしてインタビューし合い、会話を楽しもうとする。(ウ)
5	買い物しよう I don't like blue.	I don't like blue.	第1時	・着たい服の色や種類を選ぶ。	・世界には様々な衣服があることを知り、その言い方を理解する。(ウ)
			第2時	・自分の選んだ服を紹介する。	・好きな衣服を買う場面で使われる表現を知る。(イ)
			第3時	・「Do you have?」と尋ねたり、「Yes, I do.」と答えたりしながら仲間集めをする。	・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物を楽しもうとする。(ア・イ)
			第4時	・買い物をして、買ったものを発表する。	・グループで買った物が相手に伝わるように、発表し合う。(ア)
6	外来語を知ろう What do you want?	What do you want? Melon, please.	第1時	・外来語の言い方を知る。(ALT)	・CDやALTの発音を聞き、外来語ともになる語とは、音が違うことに気づく。(ウ)
			第2時	・自分の欲しい物を注文する。	・～pleaseを使って、欲しいものを答えようとする。(イ)
			第3時	・自分のオリジナルパフェを作る。	・欲しいものを探して、友達のパフェを作ろうとする。(ア)
			第4時	・グループでスペシャルパフェを作り、感想を言い合う。	・クイズを通して、作ったパフェを紹介する。(ア・イ)
7	クイズ大会をしよう What's this?	What's this? It's a pencil.	第1時	・チャットやゲームを通してものの聞き方や答え方に慣れる。	・What's this? という尋ね方や、It's a ～. という答え方をしようとする。(イ)
			第2時	・身近な生き物や道具等の言い方を知り、クイズに答える。	・身近な生き物や道具等の言い方の日本語との違いに気をつけて言おうとする。(ウ) ・シルエット・クイズやピクチャー・クイズに答えようとする。(ア)
			第3時	・グループごとにクイズを出し合っ楽しんで。	・積極的にWhat's this? It's a ～.と言おうとしている。(イ) ・クイズを友達同士で出し合おうとする。(ア)
			第4時	・「What's this?」を使ってグループでクイズ大会をする。	・グループで協力してクイズ大会を楽しもうとする。(ア・イ)
8	時間割を作ろう I study Japanese.	I study Japanese.	第1時	・教科の言い方を知る。 ・曜日の言い方を確認する。	・教科や曜日を進んで言おうとする。(ウ)
			第2時	・CDを聞いて時間割を完成させる。 ・教科のビンゴゲームをする。	・教科や曜日を使ってゲームを楽しもうとする。(ア・イ)
			第3時	・時間割を作る。	・グループで協力してオリジナルの時間割をつくろうとする。(ア)
			第4時	・作った時間割を発表する。	・グループごとにクイズ形式でオリジナルの時間割を発表しようとする。(ア・イ)
9	ランチ・メニューを作ろう What would you like?	What would you like? I'd like juice.	第1時	・自分の朝ご飯を紹介する。	・I eat～. を使って、食べたものを言おうとする。(イ)
			第2時	・食べ物の言い方を知り、ゲームを楽しむ。	・様々な国の食べ物の言い方に気をつけてゲームを楽しもうとする。(ウ)
			第3時	・グループでオリジナルランチを作る。	・What would you like? を使ってオリジナルランチをつくろうとする。(ア)
			第4時	・オリジナルランチを発表する。	・自分たちのつくったオリジナルランチをクイズ形式で発表しようとする。(ア・イ)

第6学年 外国語活動年間指導計画 および 評価計画

真庭市立川上小学校

(ア)コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
(イ)外国語への傾き・楽しみ  
(ウ)言語や文化に関する気づき

Lesson	単元名	使用表現・単語等	時間	指導内容	評価規準
1	アルファベットで遊ぼう That's right.	What's this? It's ~. A ~ Z	第1時	・先生が使う英語表現に慣れる。 ・アルファベットの大文字に触れる。	・英語には、独自の発音や強弱、アクセントなどがあることに気づく。(ウ) ・アルファベットの大文字に興味をもち、絵の中から探そうとする。(イ)
			第2時	・アルファベットの文字の読み方を聞いて大文字と合わせる。	・アルファベットの文字の読み方を聞いて、どのアルファベットの大文字が分かり、相手に正確に伝えようとしている。(ア)
			第3時	・アルファベットの大文字と読み方を一致させる。	・進んで身の回りにあるアルファベットの大文字を探そうとする。(イ) ・英語は(日本語などと違って)名前の後に姓がくことに気づく。(ウ)
2	いろいろな文字があることを知ろう Aa Bb Cc	What's this? a ~ z	第1時	・アルファベットの小文字を知る。 ・21~100の数の言い方に慣れる。	・世界には、様々な文字があることに気づく。(ウ) ・様々なものを英語を使って数えようとする。(イ)
			第2時	・アルファベットの小文字と大文字をあわせる。	・21~100の数を聞いて分かる。(イ) ・アルファベットの読み方を聞いて、小文字と一致させることができる。(イ)
			第3時	・アルファベットの小文字と読み方を一致させる。	・身の回りに英語表示がたくさんあることに気づく。(ウ) ・町の絵からアルファベットの文字で書かれた表示を選んで書き写そうとする。(イ)
			第4時	・身の回りにあるアルファベットを探して読んでみる。	・進んで身の回りのアルファベットを探そうとする。(イ) ・アルファベットカードの大文字と小文字を見て書き写し、紹介し合う。(ア)
3	友だちの誕生日を知ろう When is your birthday?	When is your birthday? My birthday is March 3rd.	第1時	・世界の祭りや日本の行事を通して月の言い方を知る。	・世界の祭りや日本の行事に興味を持つ。(ウ) ・12ヶ月の月名をいおうとする。(イ)
			第2時	・~月~日の言い方を知り、自分の誕生日を言う。	・~月~日の言い方を知り、自分の誕生日を言おうとする。(イ)
			第3時	・月や誕生日の言い方、尋ね方に慣れる。	・月や誕生日の言い方や尋ね方に慣れ、言おうとする。(イ)
			第4時	・友だちに誕生日を尋ねたり、答えたりする。 ・世界の誕生日について聞く。	・友だちに誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。(ア) ・世界の誕生日について、興味を持って聞こうとする。(ウ)
4	できることを紹介しよう I can swim.	Can you swim? Yes, I can./No, I can't. I can swim./I can't swim.	第1時	・まとまった話を聞き、できること、できないことを理解する。	・まとまった話を聞いて、誰がどのようなことができるか聞き取ろうとする。(イ・ウ)
			第2時	・どのようなことができるかを友だちに尋ねたり、答えたりする。	・できるかどうかを友だちに尋ねたり、答えたりしようとする。(ア・イ)
			第3時	・友だちと互いにどのようなことができるかを尋ねたり、答えたりする。	・あることができるかどうかを尋ねたり、答えたりする。(ア)
			第4時	・自分ができることを発表したり、友だちの発表を聞いて理解したりする。	・自分ができるとできないことを発表する。 ・相手ができることやできないことを聞いてわかる。(イ)
5	道案内をしよう Turn right.	Where is the flower shop? Go straight. Turn right/left. Stop.	第1時	・町中にある建物や施設の言い方を知る。	・建物や施設の英語での言い方を知り、外来語と比べて表現方法が違うことに気づく。(ウ) ・建物や施設を表す英語を聞いて分かる。(イ)
			第2時	・方向や動きを表す言葉を知り、慣れる。	・方向や動きを表す英語を聞いて分かる。(イ) ・方向や動きを指示する英語を聞き取って、そのとおりに動く。(イ)
			第3時	・方向や動きを指示する表現を使って相手に目的の場所を教える。	・方向や動きを表す英語を使って、相手に目的の場所を教える。(イ)
			第4時	・道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。	・方向や動きを指示する英語を使って相手に目的地の場所を教えようしたり、案内された通りに動こうとしたりする。(ア)
6	行ってみたい国を紹介しよう I want to go to Italy.	I want to go to Italy. Let's go.	第1時	・世界には様々な英語があることを知る。 ・国の持ちようについて知る。	・世界には、様々な英語があることに気付く。(ウ) ・世界の国名や有名な場所、ものの言い方を知る。(イ・ウ)
			第2時	・行きたい国とその理由の言い方を知る。 ・まとまった話を聞いて内容を理解する。	・行きたい国やその理由の言い方を知る。(イ) ・まとまった話を聞いて、その内容を聞き取ろうとする。(イ)
			第3時	・行きたい国を尋ねたり、尋ねられて答えたりする。	・積極的に友だちに行きたい国を尋ねたり、答えたりしようとする。(ア・イ)
			第4時	・行きたい国と理由を発表したり、話を聞いて理解したりする。	・行きたい国や理由について話そうとしたり、友だちの行きたい国や理由を理解したりしようとする。(イ)
7	自分の1日を紹介しよう What time do you get up?	What time do you get up? At 7.00. I go to bed.	第1時	・世界には時差があることを知る。時間についての表現を知る。	・国や地域によって、時刻のずれがあることに気づく。(ウ) ・英語での時刻の言い方を聞いて、それが何時か分かる。(ウ)
			第2時	・一日の生活について話を聞き、概要を聞き取る。	・教師の一日の生活について英語で話を聞き、内容を理解しようとする。(イ) ・生活についての時刻を問う質問に英語で答えようとする。(イ)
			第3時	・一日の生活について話を聞いたたり、様々な表現の仕方を工夫する。	・英語での時刻の言い方を聞いたり、生活についての時刻を問う質問に英語で答えたりしようとする。(イ) ・自分の生活表を作る。(ア)
			第4時	・自分の一日を紹介したり聞いたりする。	・自分の生活を英語で紹介しようとする。(ア) ・友達の生活の紹介を聞いて理解しようとする。(ア)
8	オリジナルの劇を作ろう Please help me.	Please help me. What's the matter?	第1時	・世界には様々な民話や物語があることを知り、興味を持って聞く。	・世界には様々な物語があり、日本語になっているものの中には外国から来たものがあることに気付く。(ウ)
			第2時	・グループで登場人物を考え、オリジナルの物語を作る。	・グループで原作物語にそってオリジナルの登場人物を考え、自分たちで物語をつくろうとする。(ア・イ)
			第3時	・グループでオリジナルの物語を創作し、様々な表現の仕方を工夫する。	・グループでセリフを考えオリジナルの劇をつくる。(ア・イ)
			第4時	・劇を発表したり、他のグループの発表を聞いて理解したりする。	・グループでつくったオリジナルの劇を発表し、ほかのグループの発表の内容を理解する。(イ)
9	将来の夢を紹介しよう I want to be a teacher.	What do you want to be? I want to be a teacher.	第1時	・様々な職業の言い方を知る。	・様々な職業やその言い方を知り、聞き取る。(イ)
			第2時	・様々な国の子どもたちの夢を聞き、自分の将来の夢を考える。	・世界の子どもたちも自分たちと同じように、将来に夢を描いていることを知る。(ウ) ・将来の夢についての話を聞いて、その概要を理解する。(イ)
			第3時	・将来つきたい仕事について尋ねたり答えたりする。	・将来つきたい職業について、友だちに尋ねたり答えたりする。(ア)
			第4時	・自分の夢を紹介したり、友だちの夢を聞いたりする。	・将来の夢について理由を含めて紹介したり、友だちの夢を聞き取ったりする。(ア・イ)